

第二六期

二〇一三年四月一日〜

二〇一四年三月三十一日

事業報告書

株式会社クレスコ



東京証券取引所 市場第一部
証券コード 四六七四

匠

クレスコは、今まで「匠」として

アプリケーション開発技術、IT基盤システム構築技術、組込み技術

の3つの領域に渡るコア技術をビジネスの主軸にしながら、

さまざまな仕組みづくりを手がけてまいりました。

特にITの基本部分を支えている

IT基盤システム構築技術や組込み技術においては、

創業以前とクレスコの創業年である

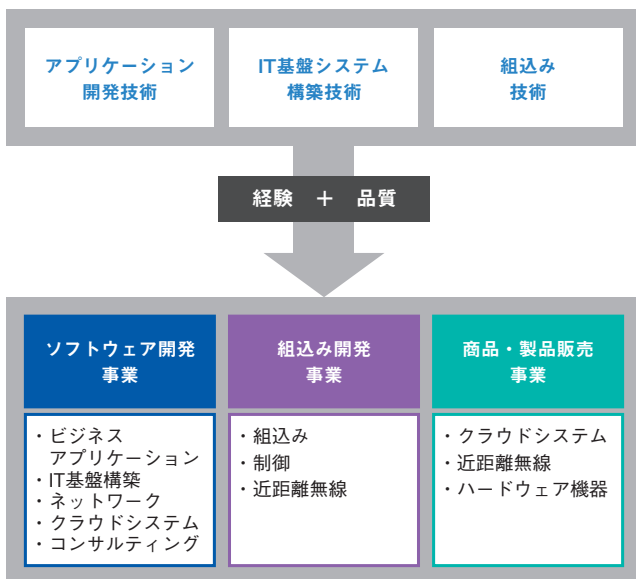
1988年以降とを合わせると40年近く。

他社の追随を許さない技術の蓄積があります。

品質に対するこだわり。

そして、現場尊重主義。

「匠」の精神で、お客様の信頼に応え続けてまいります。



株主のみなさまには平素より格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第26期(2013年4月1日～2014年3月31日)の事業報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当期の経営環境は、アベノミクス効果の実体経済への波及を実感する1年でした。円安や株高基調の定着、企業業績の好転や消費者マインドの改善、雇用創出の進展など、デフレ脱却に向けた経済回復の勢いに手ごたえを感じております。

このような経営環境を背景に、企業のICT投資意欲も前向きな動きに転じ、リーマンショック前の水準に回復してまいりました。ICT投資の戦略テーマも「売上増大への貢献」や「顧客サービスの質的向上」といったビジネス指向が増加しており、ビジネスイノベーションに向けた取組みが活発化しております。

当社企業グループといたしましては、M&Aの実施をはじめ、既存顧客の深耕や新規顧客開拓を積極的に展開すると共に、顧客との共同開発、アライアンスを含めた新規事業の創出、クラウド関連サービスの拡販に努めてまいりました。

今後も、企業のメインITソリューション・パートナーとして、お客様満足度No.1を目指し、みなさまからのご信頼とご期待にお応えしてまいります。なお一層のご支援のほど、よろしくようお願い申し上げます。

代表取締役会長 岩崎 俊雄
代表取締役社長 根元 浩幸



次世代クレスコのグループ展開 推進

当期のビジョンと取組み

私たちは

「**メインITソリューション・パートナーを目指す**」こと、
「**ワンストップ・ソリューションを提供する**」ことの

2つを**ビジョン**として掲げ、

グループ企業と一丸となり、将来に向けて精進しております。

当期は「次世代クレスコのグループ展開」の一環として、

さまざまな取組みを実施いたしました。

◆「技術と品質のクレスコ」の推進

モノづくりに携わる企業として、原点である「技術と品質」に徹底的にこだわり、グループ連携による共同開発や品質マネジメントの標準化を実現

◆クラウド関連事業のサービス強化

- ・法人様向けクラウド型ファイルサーバーサービス「インテリジェントフォルダ」の機能向上と代理店展開の推進
- ・AWS(アマゾン ウェブ サービス)上でさまざまなサービスを提供する「クレーージュ」の新ソリューションを開発

◆グループ連携強化による収益性の改善と企業価値の増大

- ・グループ連携強化によるクロス営業の推進
- ・協業によるソリューション提案の品質向上
- ・地方分散開発体制の強化(ニアショア)と海外分散開発体制(オフショア)の整備

◆M&Aによる事業基盤強化

- ・2013年4月1日に株式会社クリエイティブジャパンを完全子会社化し、基盤およびネットワーク事業を強化
- ・2013年4月30日に株式会社エル・ティール・エスを株式取得による持分法適用関連会社化し、コンサルティング事業を強化

◆プロフェッショナル人材の育成

- ・国家資格、ベンダー資格等、IT関連資格の取得支援
- ・プロジェクト・マネジメント・プロフェッショナル(PMP®)取得者100名超を達成

◆クレスコの知名度向上

- ・PR情報(ニュースリリース)の配信
- ・大型展示会への出展(クラウドサービス関連、近距離無線関連)
- ・個別セミナー、協賛セミナーの開催

<次世代クレスコ>

次なる成長のために「次世代クレスコ」と称して、

さまざまな取組みを行っております。

Topics

ゴマブックス株式会社と戦略的提携

2014年3月28日にゴマブックス株式会社の株式譲渡および第三者割当増資を引き受けました。

同社は出版業・書籍・雑誌・電子出版物・デジタルコンテンツの企画・編集・制作・販売、電子書籍コンテンツのアグリゲート事業、デジタルコンテンツのオーサリング事業を主な事業領域としており、市場が急成長している電子書籍分野において、世界の主要な電子書籍の配信会社に作品を供給するなど、事業分野を拡大しております。

今回の戦略的提携により、両社の顧客基盤・事業基盤を有効に活用し、相乗効果を最大限に創出し、電子書籍／電子マニュアル／電子カタログの事業分野において、付加価値の高いビジネスを指向して両社の成長力向上を図ります。

ゴマブックス社専用電子出版システムを共同開発し、法人向け電子文書サービス「クレアージュ for Digital Publishing」の提供開始



ゴマブックス株式会社と共同で同社の専用電子出版システム「goma e-book store」を開発し、同システムを基にした、企業内文書のデジタル化を支援する法人向けクラウドサービス「クレアージュ for Digital Publishing」のご提供を2014年3月から開始いたしました。

- ①簡単な操作で、業務マニュアル／各種カタログ／研修資料等の企業内文書を電子書籍に変換できます。
- ②電子書籍の最新フォーマット「EPUB3」に対応しており、日本語文書特有の縦書きやルビを表現できます。
- ③専用ビューワの使用で、BYOD(Bring your own device: 企業内での私物端末の業務利用)でもご利用いただけます。
- ④一般向けに電子書籍を販売したいお客様には、クレジット決済機能を備えた電子書籍ECサイトをご提供できます。

モバイル化したSAPアプリケーション「クレアージュ for SAP Mobile」の提供開始

子会社「クレスコ・イー・ソリューション」とクレスコは、新技術「HTML5」のフレームワーク(SAP UI5)を利用したポータビリティ化手法に基づき、営業関係者が使用する「SAP®CRM(顧客管理システム)」をモバイル化したソリューション「クレアージュ for SAP Mobile」のご提供を2014年2月から開始いたしました。日本光電工業株式会社様で導入いただいております。

- ①いつでもどこからでも「SAP®CRM」にアクセスでき、外出先からでも売上機械の増大・販売促進・活動の効率化に取組めるようにご支援いたします。
- ②「SAP®CRM」のポータビリティ化により、業務の効率化／営業活動の可視化することができ、スピーディな意思決定をご支援いたします。



「SAP AWARD OF EXCELLENCE 2014」をクレスコ・イー・ソリューションが受賞

SAPジャパン株式会社様が同社の優秀パートナー企業を表彰する賞「SAP AWARD OF EXCELLENCE 2014」の「SAP戦略ソリューション部門」で、子会社「クレスコ・イー・ソリューション」が「SAP®CRMオン・モバイル・ソリューション・アワード」を受賞いたしました。

「SAP AWARD OF EXCELLENCE」は、SAPビジネスへの貢献度・顧客満足度・先進的な取組み・人材育成などにおいて、極めて高い評価を得たパートナー企業に授与される賞です。

前記の「クレアージュ for SAP Mobile」で、「SAP®CRM」をベースとした優れたモバイルソリューションを開発したこと、お客様への導入を実現してモバイルソリューション分野におけるビジネス展開を開始したことを評価いただきました。



Topics

「第17回 組込みシステム開発技術展」に出展

東京ビッグサイトで2014年5月14日～16日に開催された「第17回 組込みシステム開発技術展」で、クレスコグループとして、近距離無線技術「DECT」「RFID」「NFC」「Bluetooth/ BLE」を活用するソリューションをご紹介いたしました。

データ送受信に「BLE (Bluetooth Low Energy)」を使用する「Beaconセンサー」は「NFC」より優れている点が多く、今後の活用が期待されております。

代表取締役の異動

クレスコグループの経営基盤の強化、および、さらなる企業価値の向上を目指すため、2014年4月1日付で代表取締役を1名追加して2名体制にいたしました。

- ・代表取締役会長 岩崎俊雄
引き続きクレスコグループの最高経営責任者として、コーポレートガバナンスの強化とグループ戦略を統括します。
- ・代表取締役社長 根元浩幸
事業戦略実行の陣頭指揮を執ります。

組織の再編

今後の事業展開および事業の効率性向上を見据え、2014年4月1日付で組織体を変更いたしました。

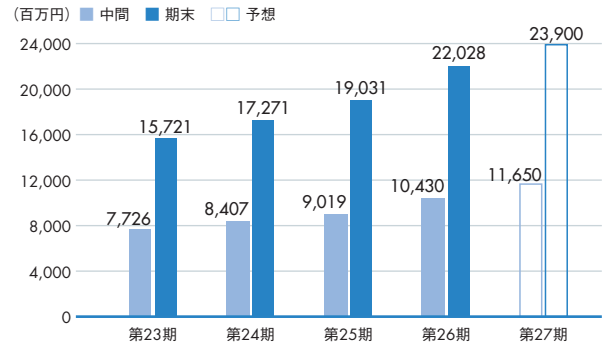
- ・「ビジネスソリューション事業本部」「エンベデッドソリューション事業部」「品質管理室」を統合して「事業統括本部」を新設しました。
- ・「事業統括本部」に「営業統括部」「企画推進事業部」「金融ソリューション事業部」「ビジネスソリューション事業部」「基盤ソリューション事業部」「エンベデッドソリューション事業部」「先端技術事業部」「北海道開発センター」を設けました。
- ・「先端技術事業部」に「スマートソリューションセンター」「スマートテクノロジーセンター」「クラウドビジネスセンター」「コンサルティングセンター」「コンピテンシーセンター」を設けました。

決算のポイント

- ◆前年同期比、売上高15.7%増、営業利益15.1%増、経常利益18.9%増、当期純利益23.2%増の増収増益
- ◆クレスコ単体の業績は、主力のソフトウェア開発事業(特に金融関連)が牽引し、組込み型ソフトウェア事業におけるカーエレクトロニクス分野の減少分をリカバリー
- ◆子会社各社の業績は、2014年1月31日付で資本関係を解消したクレスコ・コミュニケーションズを除き、収益性は向上
- ◆持分法適用会社に対する投資利益が大幅増加
- ◆年間配当予想を当初の26.0円から30.0円に修正

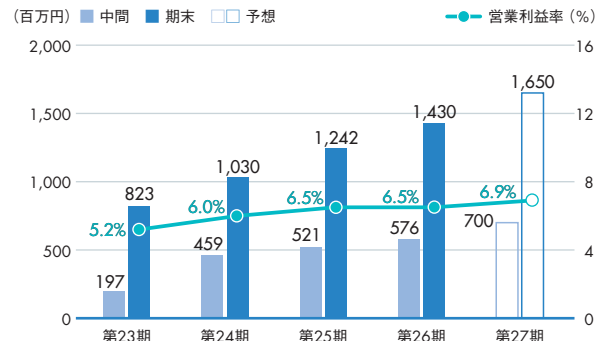
売上高

22,028百万円



営業利益・営業利益率

1,430百万円

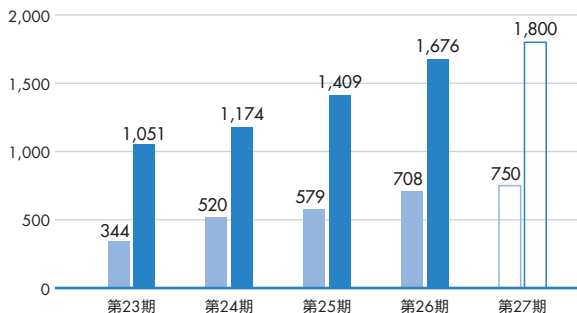


連結業績ハイライト

経常利益

1,676百万円

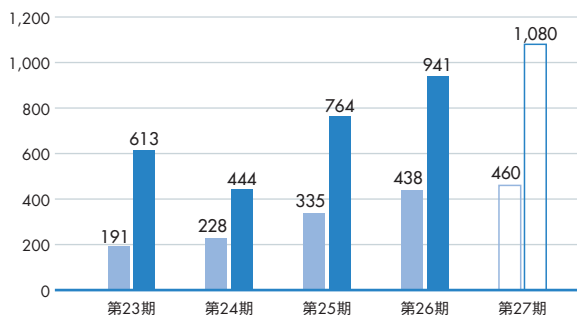
(百万円) ■ 中間 ■ 期末 □ 予想



純利益

941百万円

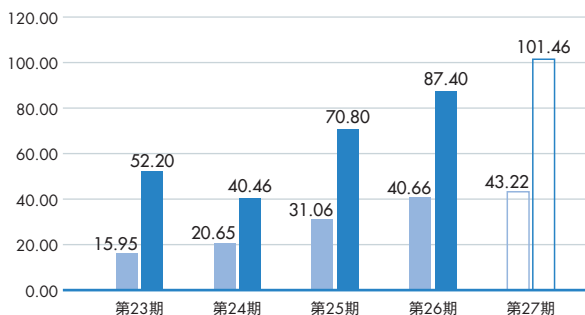
(百万円) ■ 中間 ■ 期末 □ 予想



1株当たり純利益

87.40円

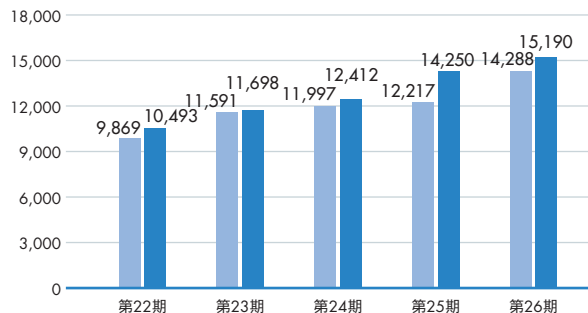
(円) ■ 中間 ■ 期末 □ 予想



総資産

15,190百万円

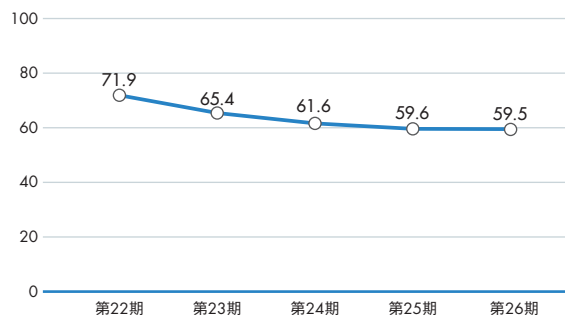
(百万円) ■ 中間 ■ 期末



自己資本比率

59.5%

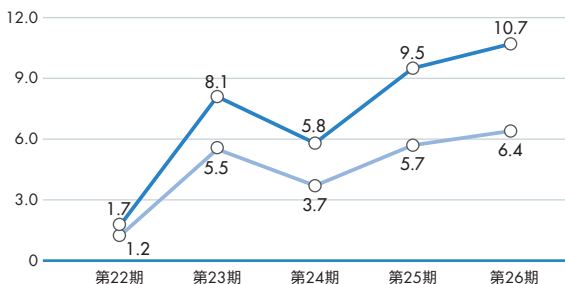
(%)



ROA & ROE

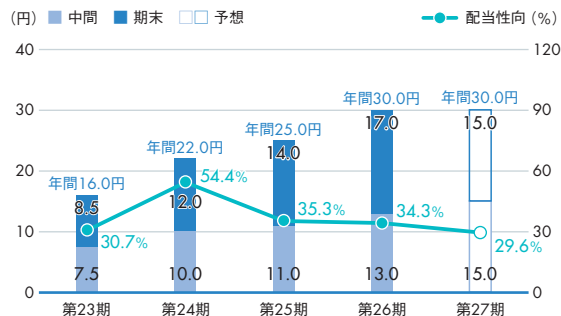
ROA 6.4%
ROE 10.7%

(%) ○ ROA ○ ROE



1株配当金・配当性向

30.0円
34.3%



配当方針

当社は、株主のみならずに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。配当に関しましては、原則当社の経常利益をもとに特別損益を零(ゼロ)とした場合に算出される当期純利益の40%相当を目途に、継続的に実現することを目指してまいります。

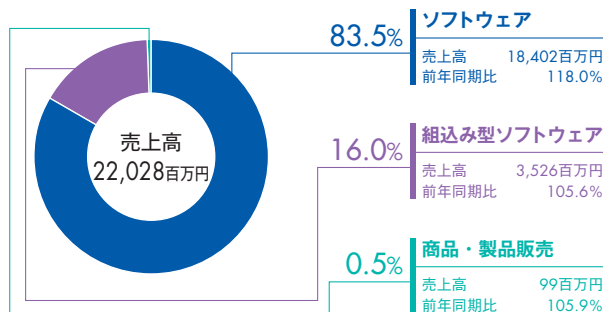


ホームページのご案内

最新のIR情報や
財務データ、決算関連資料を
掲載しております。
ぜひ、ご利用ください。

<http://www.cresco.co.jp/>

セグメント別売上高・構成比率



■ ソフトウェア開発

売上高は184億2百万円(前年同期比18.0%増)となり、セグメント利益(営業利益)は19億61百万円(前年同期比21.3%増)となりました。業種別の売上高を比較しますと、主力の金融分野は銀行および保険業の案件が増加して前年同期を5億74百万円上回り、公共サービス分野は前年同期を4億32百万円上回り、流通・その他の分野は前年同期を17億98百万円上回りました。

■ 組込み型ソフトウェア開発

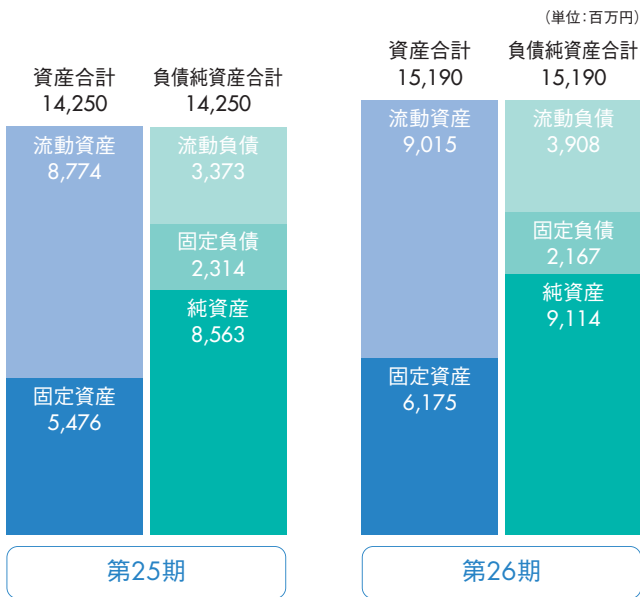
売上高は35億26百万円(前年同期比5.6%増)となり、セグメント利益(営業利益)は3億63百万円(前年同期比14.4%減)となりました。製品別の売上高を比較しますと、通信システム分野は前年同期を16百万円上回り、カーエレクトロニクス分野は前年同期を8百万円下回り、情報家電等・その他組込み型分野は前年同期を1億78百万円上回りました。

■ 商品・製品販売

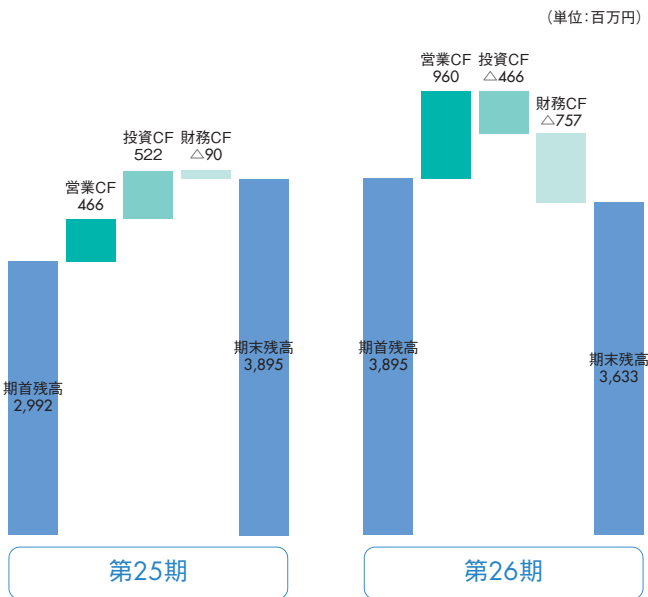
売上高は99百万円(前年同期比5.9%増)となり、セグメント損失(営業損失)は12百万円(前年同期26百万円)となりました。

連結財務状況

■ 貸借対照表の概要



■ キャッシュ・フロー計算書の概要



■ 流動資産

2億41百万円
(前期比)

現金および預金が7億2百万円減少したものの、受取手形および売掛金が5億14百万円、有価証券が2億12百万円、繰延税金資産が67百万円、金銭の信託が53百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて2億41百万円増加し、90億15百万円となりました。

■ 固定資産

6億98百万円
(前期比)

投資有価証券が4億29百万円、のれんが2億39百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて6億98百万円増加し、61億75百万円となりました。

■ 流動負債

5億35百万円
(前期比)

買掛金が2億31百万円、未払法人税等が1億72百万円、賞与引当金が1億70百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて5億35百万円増加し、39億8百万円となりました。

■ 固定負債

1億46百万円
(前期比)

長期未払金が3億87百万円増加したものの、役員退職慰労金制度の廃止に伴う功労加算金3億15百万円を含む役員退職慰労引当金が5億3百万円、長期借入金が1億78百万円減少し、退職給付会計基準の改正に伴い退職給付に係る負債が12億6百万円増加した一方で、退職給付引当金が10億57百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1億46百万円減少し、21億67百万円となりました。

■ 純資産合計

5億51百万円
(前期比)

自己株式のマイナスが1億49百万円増加したものの、利益剰余金が6億50百万円、その他の包括利益累計額が50百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて5億51百万円増加し、91億14百万円となりました。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が6億12百万円、売上債権の増加が3億49百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が17億8百万円、仕入債務の増加が2億26百万円あったことにより、9億60百万円の収入(前年同期4億66百万円の収入)となりました。











■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入が16億59百万円、投資有価証券の売却による収入が10億89百万円あったものの、有価証券の取得による支出が17億11百万円、投資有価証券の取得による支出が14億81百万円あったことにより、4億66百万円の支出(前年同期5億22百万円の収入)となりました。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出が3億6百万円、配当金の支払額が2億90百万円、自己株式の取得による支出が1億49百万円あったことにより、7億57百万円の支出(前年度90百万円の支出)となりました。

グループ各社の連携を密に、その総合力を発揮して、
さらなるビジネスの拡大にチャレンジしてまいります。

		本社所在地	事業						
			ソフトウェア開発			組み込み開発		商品・製品販売	
子 会 社	 クレスコ	東京都港区	ビジネス アプリ	基盤 構築	クラウド	コンサル ティン	組み込み	近距離 無線	クラウド
	 クレスコ・イー・ソリューション	東京都港区	ビジネス アプリ		クラウド	コンサル ティン			
	 ワイヤレステクノロジー	東京都大田区						近距離 無線	近距離 無線
	 クレスコ・アイディー	東京都港区							近距離 無線
	 アイオス	東京都港区	ビジネス アプリ	基盤 構築					
	 クレスコ九州	福岡県福岡市 博多区	ビジネス アプリ						
	 クレスコ北陸	石川県金沢市	ビジネス アプリ						ハード ウェア
	 科礼斯軟件 (上海)	中華人民共和国 上海市	ビジネス アプリ						
	 シースリー	茨城県日立市					組み込み	制御	
 クリエイティブ ジャパン	東京都港区		基盤 構築	ネット ワーク					
関 連 会 社	 ウェイン	東京都港区	ビジネス アプリ			コンサル ティン			
	 ビュルガー コンサルティング	東京都中央区				コンサル ティン			
	 エル・ティー・エス	東京都新宿区				コンサル ティン			



会社概要

(2014年4月1日現在)

商号	株式会社クレスコ
設立	1988年4月
資本金	2,514百万円
従業員数	955名
所在地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本社 〒108-6026 東京都港区港南2丁目15番1号 品川インターシティA棟25階～27階 03-5769-8011 ■ 北海道開発センター 〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌北三条ビル2階、11階 011-200-5550
事業内容	情報処理システムに関する <ul style="list-style-type: none"> ■ コンサルティングおよびソリューションサービス業務 ■ 設計、開発業務 ■ 運用管理、保守業務 ■ 調査、分析、評価および技術支援業務

役員

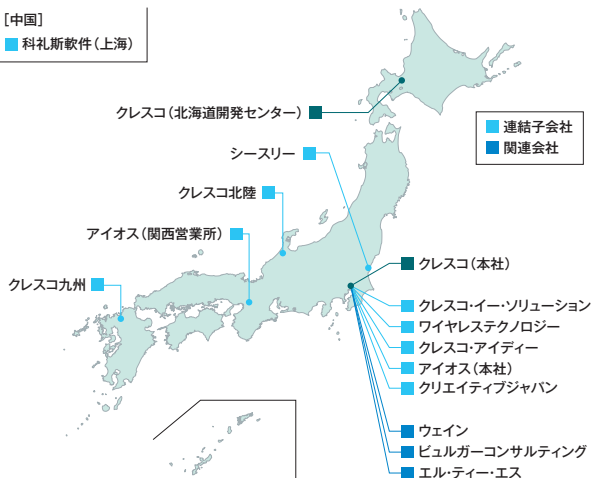
(2014年6月20日現在)

代表取締役会長	岩崎 俊雄	常勤監査役	波多腰 茂
取締役副会長	水谷 浩二	監査役	白井 義眞
代表取締役社長	根元 浩幸	監査役	井手 正介
常務取締役	丹羽 蔵王	監査役	戸田 秀明
常務取締役	山元 高司		
取締役	杉山 和男		
取締役	富永 宏		
取締役	菅原 千尋		
取締役	谷口 義恵		
取締役	熊澤 修一		

(注)
監査役白井義眞、監査役井手正介および監査役戸田秀明は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

クレスコグループ

(2014年4月1日現在)



株式の状況

(2014年3月31日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式の総数	10,644,396株
	(自己株式1,355,604株を除く)
株主数	2,815名

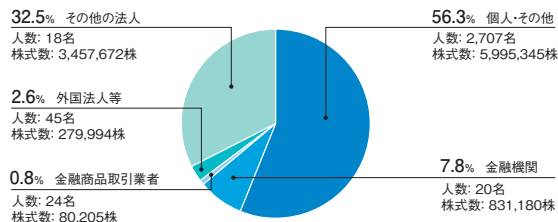
大株主

(2014年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
有限会社イワサキコーポレーション	34,396	32.47
浦崎 雅博	14,818	13.99
佐藤 和弘	5,693	5.37
クレスコ従業員持株会	5,628	5.31
田島 裕之	4,448	4.19
岩崎 俊雄	2,997	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,465	2.32
波多腰 茂	1,255	1.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	723	0.68
三菱UFJ信託銀行株式会社	686	0.64

所有者別株式分布状況(自社保有分を除く)

(2014年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	日本経済新聞社に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

